

# 広沢小だより3月臨時号



令和5年3月  
京都市立広沢小学校  
校長 小林 五月

## 学校評価アンケート結果のご報告

12月に「学校評価アンケート」を実施しました。児童は学習用コンピュータを活用して回答しました。保護者の皆様には、例年通りアンケート用紙を配付し、実施しました。回答率96.1%と、たくさんの貴重なご意見をいただくことができました。成果と課題、さらに学校運営協議会の皆様よりいただいたご意見をあわせてご報告させていただきます。

「確かな学力」の育成に向けて	児童の結果			保護者の結果		
	「そう思う」「だいたいそう思う」の結果		差	「そう思う」「だいたいそう思う」の結果		差
	R4前期	R4後期		R4前期	R4後期	
①学校は楽しいですか。	91.4	91.7%	0.3%	93.4	95.1%	1.8%
②すすんで学習にとりくんでいますか。	93.7	92.6%	-1.1%	74.3	73.4%	-0.9%
③テストやプリントの直しを、きちんとやりぬいていますか。	94.5	93.8%	-0.8%	65.6	62.6%	-3.0%
④学習予定表を見て、学習の準備をしていますか。	95.1	93.2%	-1.9%	84.4	86.0%	1.6%
⑤学校の勉強はよくわかりますか。	94.0	94.7%	0.7%	83.5	85.0%	1.4%
⑥自分の思いや考えを進んでノート等に書いていますか。	92.0	88.1%	-3.8%	74.0	73.8%	-0.2%
⑦自分の考えをしっかりと話していますか。	85.1	81.6%	-3.5%	75.4	78.0%	2.5%
⑧先生や友達の話をしっかりと聞いていますか。	97.1	95.3%	-1.9%	85.8	83.2%	-2.6%
⑨学習用コンピュータは学習に役立っていますか。	95.1	95.3%	0.1%	82.9	84.3%	1.3%
⑩進んで読書をしていますか。	86.5	84.0%	-2.5%	56.1	52.1%	-4.0%
⑪進んで宿題にとりくんでいますか。	93.1	93.2%	0.1%	67.9	72.7%	4.8%
⑫自主学習に進んでとりくんでいますか。	87.9	86.4%	-1.6%	52.9	53.1%	0.3%

### ③⑤⑪⑫ 確かな学力の定着に向けて取り組みます。

「勉強がよく分かる」という回答は増えていますが、今回も「テストやプリントの直しをきちんとやりぬいている」という回答が減っています。

自分の間違いを直すことは、学力定着に向け必要不可欠であると考えています。

そのため、テストやプリントについては、学校で必ず直しをしてから持ち帰るように指導しています。しかし、それを授業時間だけで全てをやり切ることができない場合があります。その際は、休み時間や放課後、そして、家庭に持ち帰って直しをすることもあります。もしご家庭に持ち帰ったもので、直しが終わっていないものがあるようでしたら、必ず直しをして担任まで提出するよう、お声かけをお願いしたいと思います。ぜひ、ご家庭と連携をとり、子ども達の学力定着に向けて、しっかりと間違い直しをするということを大切にしていきたいと思います。



また、今年度、昼休み・掃除の後の帯時間を「学びタイム」(毎週水曜日は「課題の日」)、毎週火曜日の放課後を「パワーアップタイム」として、授業以外に基礎・基本の学力定着に向けた学習を行ってきました。来年度は、さらにこの時間の充実を図り、自分で問題を選んでどんどん取り組んでいけるように教室にプリントや問題集を用意したり、GIGA端末でミライシードにどんどん取り組んだりしていきたいと思います。

もちろん、学力定着には家庭学習も大切です。今回、「進んで宿題に取り組んでいる」という回答が増えたことはうれしい結果です。ご家庭で、子ども達をしっかり支えている結果であると思います。来年度はさらに、自主学習にも意欲的に取り組む子が増えるように指導の充実を図っていきたいと思います。

### ⑥⑦⑧ 算数科の授業を中心に、「対話力」の育成をめざしてきました。

本校では、「自ら進んで自分の思いや考えを伝え合い、学びを深め合う子」という研究主題を設定し、教職員も学びを止めることなく、算数科の授業を中心に、「楽しくわかる授業づくり」に取り組んできました。自分の思いや考えを、ノートにかいたり、進んで話そうしたりして、学び合うことを楽しんでいる子ども達が増えてきています。保護者の回答では、「自分の考えをしっかりと話している」が増えていることは、その成果であるとうれしく思います。

しかし、子ども達の回答では、「できないない」という回答が増えています。しかし、学校での授業ではとてもがんばっている様子が見られます。先日行った第2回ノート検定でも、自分の考えだけでなく、友達の考えをかいたり、自分の気づきを図や言葉にして残したりと、とても工夫してノートづくりをしている子ども達が増えています。また、学習も「対話」によって深まる場面が多く見られます。それからすると、「できないない」との回答が増えているのは、子ども達が自分自身に対して厳しい評価をしているのではないかでしょうか。自己肯定感(自分のよいところを見つける)、自己効力感(自分ががんばったことを誇りに思える)、自己有用感(自分が人の役に立っている)が十分感じられていないのではないかと思います。

今後、子ども達の頑張りを、しっかりと認め、褒め、自分の成長をしっかりと感じ取れるように、教職員全員でさらに意識して取り組みたいと考えています。



### ⑩ 学校図書館の充実をめざし、読書に親しむ子の育成をめざします。

コンピュータ室を「第2学校図書館」として使えるようにし、さらに読書が好きな子ども達が増えるのではないかと期待していましたが、残念ながら、「進んで読書をしている」という回答は減ってしまいました。

学校では、毎朝、「朝読書」の時間を作り、みんなで静かに、集中して本を読んでいます。けれども、「進んで読書をしていない」という回答が増えているのは、外で遊ぶことが大好きな広沢の子は、休み時間やご家庭には読書ではなく、外へ飛び出しているからかもしれません。けれども、気になるのは、裏面にある「テレビやゲームの時間を決め、早寝早起きをし、時間を考えて生活している」と回答している子ども達が減っていることです。ご家庭での時間の多くを、テレビやゲームをして過ごし、読書をしていないのではないかと考えます。

学校運営協議会でも、読書についてたくさんのご意見をいただきました。

- ・おもしろい本、役に立つ本、子ども達に読んでほしい本を紹介していく。
- ・自分が読んだ本を、みんなに紹介する場を作っていく。
- ・親子で読書に取り組んだり、大人が読書に親しむ姿を見せたり、子どもに本を読み聞かせしてもらう時間を作ったりしていく。

これらのご意見を参考に、今後、取組を進めていきたいと思います。



「豊かな心」の育成に向けて	児童の結果			保護者の結果		
	「そう思う」「だいたいそう思う」の結果		差	「そう思う」「だいたいそう思う」の結果		差
	R4前期	R4後期		R4前期	R4後期	
①約束やルールを守って行動できていますか。	94.5	94.4%	-0.2%	93.1	94.4%	1.3%
②やさしくていねいな言葉をつかっていますか。	92.0	86.6%	-5.3%	84.7	87.8%	3.1%
③自分から気持ちのよいあいさつをしていますか。	89.4	87.5%	-1.8%	69.7	74.8%	5.2%
④むずかしいことでもがんばって挑戦していますか。	94.5	91.7%	-2.8%	64.5	65.0%	0.6%

①②③④ できていることをほめ、守ってほしいことは指導していきます。

### レジリエンス(何事にもしなやかで折れない心)の育成をめざします。

保護者の皆様の「できている」という回答が増えたことは大変うれしく思います。子ども達は、朝出会うと「おはようございます」、給食室では「おいしかったです」と元気にあいさつをしています。低学年の子がけがをするとき、高学年の子がそばについて保健室まで連れてきてくれます。友達と仲良く遊び、時にけんかをすることがあっても、すぐに「ごめんね」と仲直りすることができます。学習にも、いろいろな活動にも、意欲的に取り組むことができる子ども達です。そんな良さを、子ども達自身が実感できるように、できていることを認め、ほめていくことを、やはり意識して取り組んでいきたいと思います。自己肯定感、自己効力感、自己有用感を高めることで、難しいことにもどんどん挑戦していく意欲を高めてほしいと思います。

また、子ども達の「できていない」という回答が増えているように、決まりが守られていなかったり、乱暴な言葉を使ったりしている場面も見かけます。なぜ、決まりを守ること、優しくていねいな言葉を使うことが大切なのかを、子ども達にきちんと話しながら、それらを守ることができるように指導していきたいと思います。



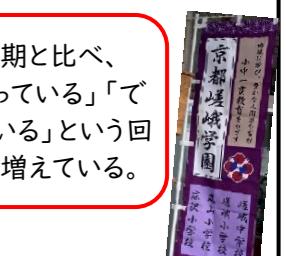
しかし、残念ながら、遅くまでゲームをしたり、動画視聴をしたりして、生活習慣が乱れている子が増えています。また、SNS等でのトラブルが起こったり、学校で学習に集中できなかったりする現状もあります。

この状況は、喫緊の課題であると考えています。学校運営協議会では、これにはご家庭の協力が欠かせないというご意見をいただいています。ご家庭とも連携を図りながら、今後も規則正しい生活リズムや睡眠の大切さについての学習を続け、児童が健康な生活について考える機会をもてるようにしていきたいと考えています。どうかご協力をお願いします。

その他	児童の結果			保護者の結果		
	「そう思う」「だいたいそう思う」の結果		差	「そう思う」「だいたいそう思う」の結果		
	R4前期	R4後期		R4前期	R4後期	
①手紙やプリントをきちんとおうちの人にお見せていますか。	94.0	92.3%	-1.7%	90.2	92.7%	2.5%
②学校だよりやHPで学校の様子がよくわかりますか。						
③学校は地域の特色や人材を生かした取組を行っていますか。				80.6	82.2%	1.5%
④夢や希望をもっていますか。	89.9	86.6%	-3.3%	79.8	82.2%	2.4%
⑤京都嵯峨学園の名称を、保護者や地域の方は知っていますか。				69.4	73.8%	4.4%
⑥京都嵯峨学園の教育活動について、情報提供ができますか。				66.2	67.8%	1.6%
⑦京都嵯峨学園で連携した教育活動が取り組めていますか。				70.2	69.9%	-0.3%

### ③⑤⑥⑦ 京都嵯峨学園(3小1中)・地域と連携して教育活動に取り組みます。

今年度は、地域の特色や人材を生かした取組や京都嵯峨学園(嵯峨中・嵯峨小・嵐山小)で連携した教育活動が少しずつできるようになりました。地域の方にゲストティチャーとして来ていただきて話を聞いたり、出かけて行ったりしました。京都嵯峨学園では、生徒会児童会が交流会を行ったり、3年生がオンラインで学校自慢を紹介し合ったりする取組を行いました。子ども達は、これらの機会で学習意欲を高めたり、普段は見られない力を発揮したり、大変貴重な時間になったと感じます。来年度は、地域の特色や人材を生かした取組、京都嵯峨学園で連携した取組をさらに進めていきたいと思います。



### ④ 夢や希望がもてる取組・学習を行います。

今回の学校運営協議会でも、「夢や希望をもつためには、いろいろな本を読んだり、いろいろな人からお話を聞いたり、いろいろな体験をする機会を作ったりすることがきっかけとなる」というご意見をいただきました。本校の学校教育目標「夢に向かって、笑顔で取り組む広沢の子」の実現に向けて、「夢をもつ」「好きなことを見つける」ために、読書やいろいろな体験、話を聞く機会等を意図的に増やしていきたいと思います。



また、学校運営協議会では、「ぜひ地域のイベントや取組にも参加して、いろいろな体験をしたり、いろいろな人に出会ったりする機会を大切にしてほしい」という意見もありました。来年度、コロナもおさまり、いろいろな行事・活動が行われると思います。その機会をぜひ大切にしていきたいと思っています。

広沢小学校は、来年度「創立50周年」を迎えます。50年を振り返り、地域の方に感謝し、さらに広沢小学校をよくしていこうという夢・希望があふれる1年にしていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

「健やかな体」の育成に向けて	児童の結果			保護者の結果		
	「そう思う」「だいたいそう思う」の結果		差	「そう思う」「だいたいそう思う」の結果		差
	R4前期	R4後期		R4前期	R4後期	
①いじめ・なかまはずれしないように、気をつけていますか。	97.4	95.5%	-1.9%	98.6	99.0%	0.4%
②ゲーム・テレビの時間を決め、早寝・早起きをし、時間を考えて生活していますか。	84.5	76.9%	-7.6%	60.7	56.6%	-4.1%
③進んで外遊びをしていますか。	86.8	87.5%	0.8%	73.1	68.5%	-4.6%
④好ききらいなく食事をしていますか。	87.9	89.9%	2.0%	68.5	75.9%	7.4%
⑤「つま先立ち」をがんばっていますか。	97.4	95.0%	-2.5%	85.0	86.7%	1.7%
⑥感染症対策(マスク・手洗い・3密をさけるなど)をしていますか。	94.5	90.2%	-4.3%	98.0	94.8%	-3.2%

### ② 生活を見直しは、喫緊の課題です。

今年度も、毎月「すこやか週間」を設けて、健康的な生活について、食、安全、体づくり、保健の面から学習をしてきました。「すこやか生活しらべ」や「メディアアンケート」をして自分の生活を振り返る機会をもってきました。「ノーメディアデー」と定め、電子メディアの使用を控える取組を進めました。

